

**ACW2 臨時大会 zoom開催**  
2021.8.7.sat 14:00~17:00

本日のスケジュール

第0、チェックイン&話し合いのルール

第1、伊藤みどり挨拶

第2、提案

第3、質疑応答

第4、会計、予算

第5、閉会

## 第0、チェックイン

### 第1、伊藤みどり挨拶

### 第2、提案

---

#### 1、はじめに

---

#### 2、2月定期大会の振り返り

##### ●ACW2について

- ・意見の対立や一人一人を大事にする組織は貴重。
- ・官製ワーキングプアや介護労働など様々な活動の拠点としてのACW2への期待がある。

##### ●活動について

- ・ACW2がやっている活動が見えない。ACW2設立の時から地道にやってきた活動が評価されない。発信力が弱い。

##### ●運営、関わり方について

- ・運営は大変。でも効率を目指して進めることはACW2の長期ビジョンと合わない。
- ・運営や次どうするかを決めて行く大変さが共有できて嬉しかった。
- ・関わりたい気持ちがあるけど、どう関わっていいかわからない。余裕がなく定期的に一定量を関わるができない。

---

#### 3、社会の現状の共有

- ・非正規雇用の拡大、実質賃金の低下、労働条件の悪化が進んでいる。
- ・そんな中コロナによって、働くだけでなく生きること自体が困難な方が増えている。余力がない。

---

## 4、この状況の中、これからACW2をどのようにしていきたいか

### ●ACW2が必要だと思う理由

- ・意見の対立や一人一人を大事にする組織は貴重。
- ・互いに生きのびるために、集まり、話し合える。(ホットライン、講座、小グループ)
- ・官製ワーキングブアや介護労働など様々な活動の拠点。
- ・はたらくことについて新たな価値観を提示する。既存の働くイメージを変える。命が大切にされる生き方・働き方。100年ビジョン。
- ・最近、問い合わせがあり、ACW2がやってきたことが伝わっているとわかった。

### ●ACW2は、何ができるところか？

- ・相互関係の場。やってもらう場ではなく一緒にやっていく場。  
例：小グループ(現時点：読書会・性・手芸) ※定期大会の分科会から始まった。
- ・やりたい方が自主的にACW2の会員MLや、ネットワークを使って活動できる。  
例：[公務非正規女性全国ネットワーク\(通称：はむねっと\)](#)  
※会員MLでアンケートのお願いを投稿。会員が拡散して多くの回答があった。

### ●ACW2に必要なこと

- ・やりたいことをやるためには運営や事務は必須。それを担う方が必要。
- ・仕事を小さく小分けにして、1仕事2人以上のチームにして互いに支え合う。  
1人が抜けても続けられる仕組みを作り、重圧にならないように。
- ・有償を前提にした運営・財政システム作り。
- ・助け合いの組織を作るために、あなたの知恵と力を貸して欲しい。

### ●ACW2運営の現状

- ・ACW2の運営面では、仕事や情報が数人に集中している。  
その方がやれなくなったら、今までのように続けることが難しい。

そこで...

---

### (1)組織の形態を変更する

#### ●運営委員会の形を変更し、小グループを作る

事務をグループに分け、仕事を小分けにして、多くの方と分担できれば続けられる。

- ・グループごとに独立性、責任を持つ。
- ・定期的に、各小グループまとめ役(世話人)が集まって情報共有の会議を開く。
- ・一気に変更は難しいので、臨時大会で方針を承認後、できるところから挑戦していく。
- ・事業、事務の優先順位を決め、残す・やめる・休止するかを検討。必須の仕事を優先。
- ・会員が参加できるように作業を割り出し、その関わり方を具体的に提示する。
- ・どんな風に手をあげれば作れるのかサポートする。示し方を考える小グループを作る？

---

#### ※規約について

- ・小グループの仕組みがある程度できてから、それに合わせて規約を改定する。

- ・世話人会議(仮称)を開催して、来年の定期大会までに規約をどう変えるか考えていく。

---

### 〈運営系小グループ〉案

- ・連絡調整(目的:各グループの連絡調整、オンラインの使用管、事務所管理、事務所の共有スペースの整理と管理、鍵の管理)
- ・会員ニーズ(目的:分析と会員へのアウトリーチ、会員アンケートなど会員の活動をサポートする)
- ・会計(目的:予算:決算 入金出金 会員名簿管理 販売集金 会費請求)
- ・財政健全化(目的:財政分析の依頼 助成金、寄付、法人化検討)
- ・広報(目的:広報、ホームページ、FB、Twitter かもす通信)
- ・ITサポート(目的 業務の見える化 共有化 構築)
- ・各グループは責任を取るために「世話人」を必ず決める(辞める時は交代をする)
- ・世話人の会議をやるときは、会議が必要だと呼びかける
- ・会計報告も各グループにする。
- ・各グループのメールアドレスを作ってYahooメールはやめる。
- ・働きに支払えないとき、代わりに講座参加券、会費清算、事務所使用できる。  
ACW2通貨

※上記は、入会月からまる2年以上 の会員など、条件を付ける

---

### 〈事業系小グループ〉案

- ・ホットライン(相談員の募集、配置カード作成など、振り返り、グループスーパービジョン 事例検討とまとめ)
- ・共育トレーニング ?
- ・相談員トレーニング
- ・かもす講座などの開催と教材づくり
- ・関わり方提示グループ?
- ・規約改定グループ
- ・ミッション小グループ (100年ビジョン 中期ビジョンなどの検討)

※上記は、新人会員も含めて積極的にかかわってもらう

---

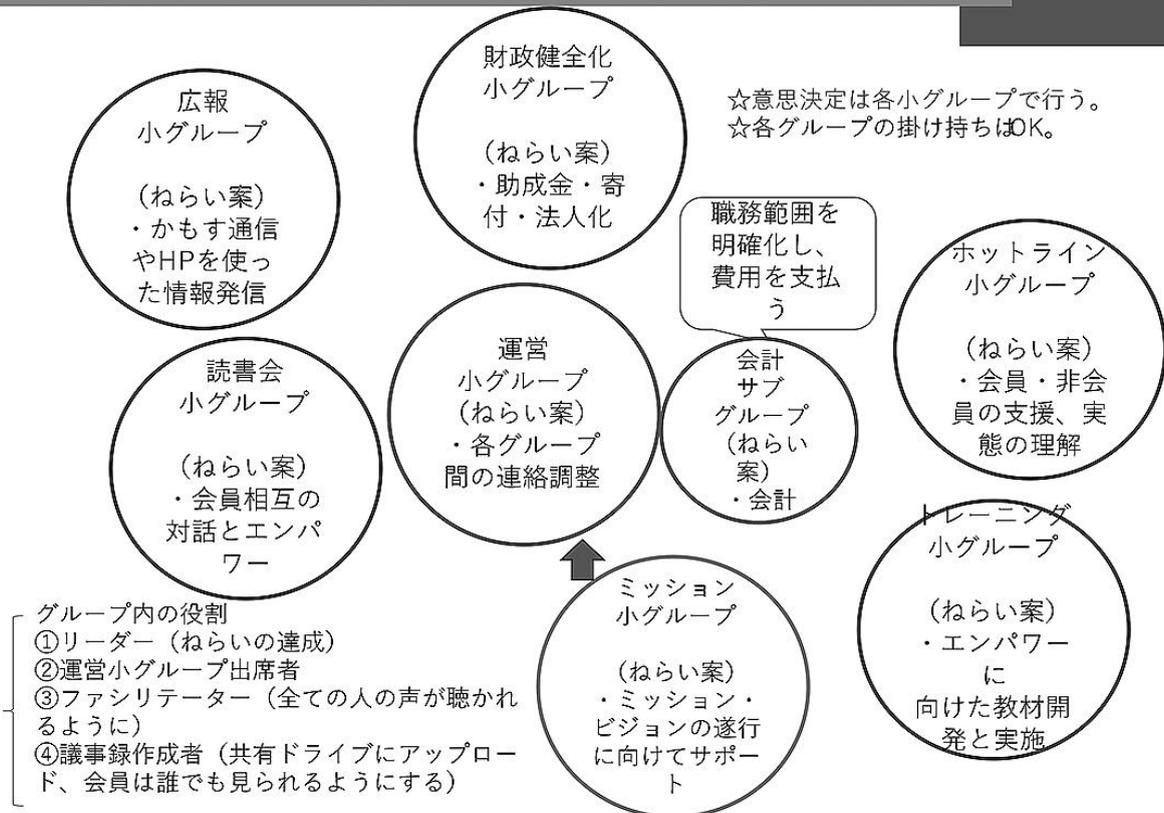
### 〈会員相互の交流グループ〉

会員の申し出による。いくつあってもよい、全員が選べるように 増やしていく。  
10人以内めど、グループの活動報告を定期的に。

現在ある会員交流グループ

参考1:

## ソシオクラシーのイメージ（運営委員会がある形）



はたらく女性の全国センターの課題を踏まえての提案—米国・韓国の事例を参考に—  
小谷 幸（会員:米国の事例から）・金 美珍（運営委員:韓国の事例から） かもす通信2021年5月号より

参考2: 運営・事業に必要な仕事リスト→[事務局業務棚おろしリストPDE](#)

### ●例: 会員交流小グループの作り方

zoom開催の場合

- 1、やりたいことを思い立つ。
- 2、会員MLに投稿して、一緒にやりたい方を募ってグループを作る
- 3、ミーティング日時を調整。同時開催でなければACW2のzoomIDが使えます。
- 4、開催
- 5、進行役、記録係を決める。(グループの中で交代可能)

- ・ライン非公開グループや、FBで秘密のグループを作って連絡し合う。
- ・ACW2のドメインを使ってグループのメールアドレスを作れます。

### ●最後に

- ・ACW2の組織を小グループに分け、それぞれが独立性を持つ組織に変える初めての試み
- ・失敗したり、うまくいかないことがあると思います。
- ・でも、今の社会の現状と、これまでのACW2のやり方では続けられない

- ・新たな仕組みを作ることに試行錯誤しながら挑戦したいです。  
うまくいかなかったら、どうしたらうまくいくか軌道修正していく。

この決断を受け止め、承認していただけるとうれしいです。

承認していただけたら、試行錯誤を始めます。  
ぜひ、見守ったり、応援したり、サポートしたり、一緒に挑戦したり、  
あなたの希望するやり方で関わっていただけるとうれしいです。  
一緒にやってみたいという方は、ぜひ声をかけてください。

- ・前期から続く運営委員会は一旦解散。  
改めて、いずれかの運営系小グループでやりたい方に意思を表明してもらおう。

---

## 5. おまけ

### (1) 将来の夢／協同組合

運営系小グループが軌道に乗ったら、組織を組合にする？  
会費は出資金に変わり、一人一人が運営者となる。

- ・自分たちで仕事を作り、命や生活を守る組織を作ることにチャレンジ。
- ・「私はこんなことができますよ」会員の特技を交換。仕事を回していく。
- ・拠点を作って、地域通貨、リメイク+販売、労働相談したり。農業。農園貸し出し。
- ・ゼロ円ショップ。交換して生き延びる場を作る。
- ・ACW2会員のチケットを持って行ったら割引とか。コミュニティ作るとできる。
- ・セクハラを気にしないで過ごしたい。
- ・社会実験。考えを社会へ知らせる→人が集まる。例「[未来食堂](#)」
- ・参考：武蔵野市、JR寮がシェアハウスになり農園がある。「[リエットガーデン三鷹](#)」

---

### (2) 中期ビジョンを改正する たたき台 案

中期ビジョンを見直す。

以下は、参考として入れてあります。

中期ビジョンの改正については、ミッション小グループに託すので今回議論しません。

#### ●1 私たちは資本主義社会の「はたらく」を変える・ケアを軸にした相互依存社会の実現

- ・生物学的な人間の体のリズムに合わない労働はなくしていく。
- ・地球の温暖化 環境破壊をこれ以上 進めない はたらき方。

貧困でも安心、安全の社会の実現

- ・週 3日でも最低限の生活保障
- ・能力主義の廃止
- ・0時間契約について、具体的に改善提言
- ・制約があっても生活できる 働き方 障がい者雇用、病者への差別雇用をなくす

●2 どんな意見や選択も否定しない。

- ・当事者抜きで当事者のことを決めない。自分の中の当事者性に自覚的に。
- ・お互いの尊重と感謝を大事にする
- ・アウトリーチ 会員相互の関係性を作る

●3 私たちは、ともに生きて助け合う組織を共同して作り上げていく

- ・労働組合だけではない労働者協同組合的の設立 参加と共同のコミュニティづくり
- ・特定の個人にお任せでない組織づくり
- ・私たちは資本主義の内側に入り込む(リーン・イン)を拒絶する

- ・現在の見出しを、「週3日労働で生きさせろ」「つぎはぎを生きる」  
「はたらけなくても生きる」のようなスローガンにできるといい。
- 

### 第3、質疑応答

### 第4、会計、予算

### 第5、閉会